令和 3 年度 予算施策評価表

様式1

施	策名			児童生徒の健全育	育成と教育相談	の充実	予り	章 施 策 一 ド	ky04
担	当 部 局 名	教育委員会	指導部	義務教育課	評 価 責 任 者	課長 小池 達士	連	絡先	4802

1 施 策 σ 容

施策の目標

これまでの取組み

٨

学校、家庭、地域、関係機関の連携による児童生徒の健全育成のためのネットワークづくりを推進するとともに、教育相談体制の整備・充実により、いじめ・不登校や非 行等の問題行動等の未然防止や解決に努め、児童生徒の楽しい学校生活を支援する。

児童生徒を支援するためスクールカウンセラー、ハートなんでも相談員、スクールソーシャルワーカー等を配置するとともに、教職員や教育相談員の研修を実施してきた。また、児童生徒のいじめや不登校の解 消を支援するため、学校、家庭、地域、適応指導教室等の関係諸機関が連携した地域ぐるみのサポートネットワークの整備を進めるとともに、児童生徒の安全確保や非行等の問題行動に対応するため、児童生 徒をまわり育てる連絡会を設置して具体策を検討してきた。

小・山学校(単立山等教育学校を今む)における1,000 人当たりの不登校児童生徒教

25年度は、スクールカウンセラーの配置方法を改善し、全ての小中学校で対応可能とした。また、ハートなんでも相談員やスクールソーシャルワーカー等も活用することにより、相談体制の充実を図った。

26年度は、スクールカウンセラーの勤務時間を変更した。

小・中・喜校・特別支援学校における認知したいじめの解消状況

27年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率67.7%(6.1%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。

28年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率74.6%(6.9%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。

29年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率78.3%(3.7%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。

30年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率81.8%(3.5%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。 元年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率85.2%(3.4%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。

2年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率88.9%(3.7%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。

3年度は、スクールカウンセラーの配置率(89.2%(0.3%増))を増し、相談体制のより一層の充実を図った。

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

^	7、中间仅19万人及于区区0307000000000000000000000000000000000	Б	,1,	个于仅\未立个寻找自于仅e自任/1~857/81,000人当た707个豆仅儿里工促致
選択理由	児童生徒が楽しい学校生活が送れることを目的としていることから、認知したい	選力	択 理 由	児童生徒が楽しい学校生活が送れることを目的としていることから、1,000人当たり
	じめの解消率(文部科学省実施「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の	1		の不登校で欠席した児童生徒数(文部科学省実施「児童生徒の問題行動・不登校等
	諸課題に関する調査」中)の推移をもって指標とする。	l l		生徒指導上の諸課題に関する調査」中)の推移をもって指標とする。
		1		

В

認知したいじめの解消率の推移 算定方法 1.000人当たりの年間30日以上欠席の不登校児童生徒数の推移 算定方法

成果と指標 指標の種類 指標の種類 成果と指標 指標の種類 指標の種類 強 強 フロー フロー の関係 の関係 (ストック/フロー) (プラスマイナス) (ストック/フロー) (プラスマイナス)

指標・事業費・人件費の推移

区分		成果指標A			成果指標B			事業費	(予算)		事業費	人件費
区刀	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費	(決算)	八门員
単 位	9	6	%	,	人	%			千	円		
元年度	100	81	81.0%	12	14	85.7%	125,675	39,314		86,361		77,594
2年度	100	81	81.0%	12	15	80.0%	142,255	40,714	4,000	97,541	116,514	79,845
3年度	100	72	72.0%	12	18	66.7%	180,593	80,152	4,000	96,441	158,804	73,810
4年度 目標値	10	00		1	2	4年度当初予算	142,037	42,302	4,000	95,735		
最終目標	10	00		1	2	_					_	

2 施 策 の 評 価

県の関-	与の必要性			な悩みに対応するために、教育相談体制を め問題の解決、不登校児童生徒の解消に取				て青少年
	高い	即		Ø川成の併仏、小笠収ル里土体の併伯にR	くりが正むことでい	が 日安 貝 云 の 入	さな収削 (0) ()。	
成果指	標A			こめの認知を積極的に行うとともに、いじめ事				
成果 動向	横這い	彭	なく学校生活を送るを図るとともに、地域	体制の充実を図ることにより、重大事態の発 ることができるよう努めていく必要がある。さら 或ぐるみでのネットワークづくりを進めていくこ	に、スクールカ とが大切である	ウンセラーやスクー る。	ルソーシャルワーカーなどの相談体制の整備	備、拡充
成果向上 余地	成果向上がす	可能		けた児童生徒がどの程度相談できたかとい することにより、児童生徒が安心して学校生活				2消状況
成果指	標B			愛媛県長期計画第3期アクションプログラム	こ合わせて成身	 提指標を見直したが	、全国と同様に不登校児童生徒は増加傾向	可にあり、
成果 動向	横這い	彭		いない。 ラー、ハートなんでも相談員、スクールソーシ がら不登校児童生徒への対応を強化するこ。			りを整備するとともに、学校、家庭、地域、関	係諸機関
成果向上 余地	成果向上がす	可能						
参考:	構成事務事業の評価 の平均値	成果動向	2. 23	順調・向上	成果向 上余地	1.38	成果向上が可能	

今後予測される環境変化

情報化、少子化などが進展する中、児童生徒を取り巻く環境は変化し、様々な問題が生じている。また、その要因も児童生徒の規範意識や倫理観の低下のほか、児童虐待など家庭環境によるものなど多様化している。

そのため、学校、家庭、地域、関係諸機関の連携による児童生徒の健全育成のためのネットワークの構築や教育相談体制の充実に取り組むことにより、問題行動等の未然防止や早期対応を図ることが重要である。

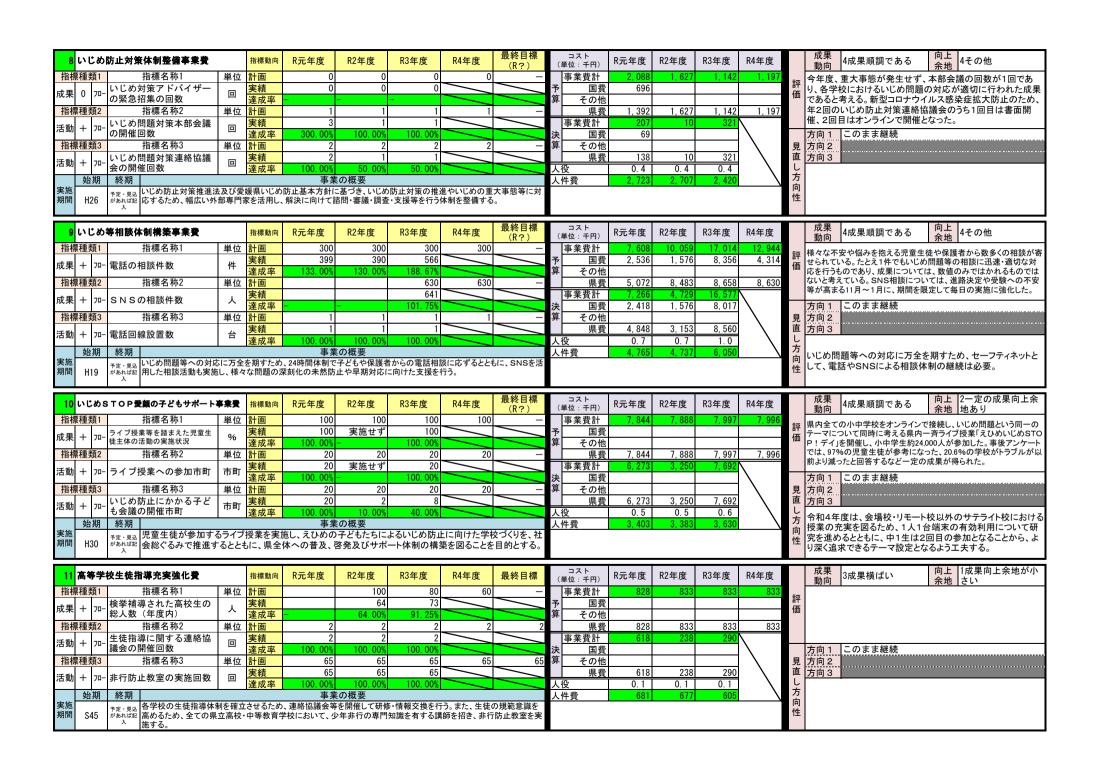
3施策の今後の方向性

現代の変化の激しい社会の中、児童生徒を取り巻く環境も大きく変化しており、学校だけでは解決できない様々な問題が生じている。また、その要因も児童生徒の規範意識や倫理観の低下のほか、児童虐待など家庭環境によるものなど多様化している。

そのため、学校、家庭、地域、関係諸機関の連携による児童生徒の健全育成のためのネットワークの構築や教育相談体制の充実に取り組むことが重要であり、そのための予算の確保が重要である。

4 -	_	1	事務事業管理シー	ト (評	平価対象	(事業							=	予算施策名	ź	ky04		児童生徒の健全育成と教育相談の充実
1	フ	リー	-スクール連携推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	(コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		成果 動向 4成果順調である
	İ	類1	指標名称1	単位	計画実績		90 67	90 77	90		子	事業費計	0	4, 431	4, 431	0	評	昨年度から補助している6施設を含む、7つの施設が補助対
成果			- 補助対象施設の満足度	%	達成率	_	74. 44%	85. 56%			算	その他		4, 000	4, 000		価	また。フリースクールの安定的な運営が、児童生徒の学びの場の確保につながっていると考える。
	İ	類2		単位	実績		6	7	4			事業費計	0	431				の子のの場の確保につながっていると考える。
活動	+	- 70-	- 補助対象施設数	箇所	達成率	-	300.00%	175. 00%			決	国費	Ŭ					方向 1 統合
指标	票種	類3	指標名称3	単位							算	その他		3, 997	3, 964		見	方向2
					実績 達成率	_	_	_			Y	<u> </u>		0.4	92 0. 4		直し	方向3
	b	台期	終期		廷从牛	事業	(の概要					· <u>以</u> .件費		2, 707	2, 420		方	. 令和4年度から「不登校児童生徒等支援事業費」に統合した上
実施 期間		R2	不登校児童生徒へ(安定運営に向けた3			対育機会を確保	まするため、フリ	ノースクールに	おける教育の)質的向上と							性	で、本事業は継続して実施する。
2	不	登校	児童生徒等支援事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	(コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		成果 動向 2成果低迷している
指标	票種	類1	指標名称1	単位			1, 390	1, 509	1, 790			事業費計	0	5, 080	8, 065	15, 079	雪亚	経済的支援の支給対象者及び対象経費には一定の要件があ
成果	_	- 70-	- 不登校児童生徒数	人	実績 達成率		1, 509 92 , 11%	1, 790 84, 30%			予質	国費		1, 693	4, 556	8, 866 4, 000		るため、支援金の申請自体が少なかったものの、相談や学習
指标	票種	類2	指標名称2	単位			30	15	15		,,	県費		3, 387	3, 509	2, 213		機会の提供を行うフリースクール等に通う不登校児童生徒の 保護者の経済的な負担軽減が図られた。
活動	+	- 70-	経済的支援を行った不登校	人	実績		10	9				事業費計	0	259	,			
			児童生徒数 指標名称3		達成率	_	33. 33%	60. 00%			決	国費		194	3, 996			方向 1 統合
抽作	崇性	類3	指標名 4/3	単位	実績						昇	その他 県費		65	1. 486		見直	カ回2 方向3
					達成率	_	_	-			人	.役		0. 4	0.4		Ļ	不登校長期化の未然防止に重点を置いた「校内サポートルー
ct=+/=	D	出期	終期	o 2 1#-	1 L. dri		の概要		144 00 1 6 3+ 14		人	.件費		2, 707	2, 420		万向	ム」の設置、フリースクールとの連携強化、ICT機器の活用に よる家庭学習の充実などにより、不登校児童生徒の多様な教
実施 期間		R2	不登校児童生徒への R4 するとともに、不登村					間団体等関係	機関との連携	体制を整備							性	るる家庭子音の元美なとにより、不宜校元皇生徒の多様は教育機会の確保に努める。令和4年度から「フリースクール連携推進事業費」を統合する。
3	ス	クー	・ルカウンセラー活用事業費	ł	指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	(コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		成果 動向 3成果横ばい 向上 1成果向上余地が小 余地 さい
指标	票種	類1	指標名称1	単位		4. 0	4. 0	4. 0	4. 0	-		事業費計	68, 459	72, 007	71, 988	73, 343	評	近年不登校等の生徒指導上の課題は複雑化、多様化してお
成果	+	- 70-	_ 拠点校 1 校の 1 日当たり の相談件数	件	実績	3.9	3.8	3. 9			予	国費	22, 819	24, 002	23, 996	24, 447	価	り、様々な要因が複雑に絡み合っていることが多いことから、
指标	車種	類2		単位	達成率計画	97. 50% 96	95. 00% 100	97. 50% 102	104		昇	その他	45, 640	48, 005	47. 992	48. 896		成果が現れるまでには時間を要する。研修会等を通じて、好 転した相談事例を紹介するなど、相談活動の向上に向けて引
活動		Ť	スクールカウンセラー等	ナゼ	実績	96	100	102				事業費計	65, 880	70, 343		\ \		き続き努める。
			を配置した拠点校数	12	達成率	100.00%	100.00%	100. 00%			決	国費	21, 960	23, 447	23, 617			方向1 このまま継続
		類3	指標名称3 スクールカウンセラー等	単位	計画 実績	54 55	58 58	60	62		算	その他 県費	43, 920	46, 896	47. 237		見声	方向 2 方向 3
活動	+	- 70-	_ スクールカリンセラー寺 の人数	人	達成率	101.85%	100.00%	101. 67%			人	<u> </u>	0.4	0.4	0.4	\	し	731.7
_	ф	台期	終期			事業	の概要					.件費	2, 723	2, 707	2, 420		方向	
実施 期間		H13	問題行動等の未然防」 中学校に配置するとと							等)を希望する							性	

	_									·- ·-									
4	ハ-	ート	なんでも相談員設置事業費	t	指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)		コスト [位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		成果 3成果横ばい	向上 1成果向上余地が小 余地 さい
指相	票種	類1	指標名称1	単位	計画	1, 178	1, 390	1, 509	1, 790		=	事業費計	8, 335	8, 336	8, 336	8, 432	-m		
成果		70-	- 不登校児童生徒数	1	実績	1, 390	1, 509	1, 790			予	国費					評価		校等の早期発見や未然防止の
八木		/н	小豆 枚光重土促数	人	達成率	84. 75%	92. 11%	84. 30%			算	その他					ТШ		主徒や保護者に対する相談活動 、もてる環境を提供し、学校の相
指相	票種	類2	指標名称2	単位	計画	106	106	106	106	_		県費	8, 335	8, 336	8, 336	8, 432		談体制の整備ができた。	O C USA SELENO () IXO II
活動	+	70-	相談員を配置した学校数	校	実績	106	106	106			=	事業費計	8, 245	8, 180	8, 149	\			
L	Ц.,		(兼務校を含む)		達成率	100.00%	100. 00%	100. 00%			決	国費						方向1 このまま継続	
指相	票種	類3	指標名称3	単位		18, 000	18, 000	18, 000	18, 000	-	算	その他					見	方向 2	
活動	+	70-	- 相談件数	件	実績	21, 139	21, 670	22, 959				県費	8, 245	8, 180	8, 149		直	方向3	
711 30.	L.,			<u> </u>	達成率	117. 44%	120. 39%	127. 55%			人役		0.4	0. 4	0. 4	\	力		
	始	台期	終期			• • • •	の概要	W I I = 0 I I . I . I .		_	人件	費	2, 723	2, 707	2, 420	\	向		
実施期間	ں ا	116	児童生徒や保護者は	が気軽	に相談でき	る体制の充実	『を図るため、!	字校垷場に相	談員を配置す	'6。							性		
初旧	"	110																	
			<u> </u>																
5	ス	クー	ルソーシャルワーカー活用	事業費	指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		コスト (位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		成果 4成果順調である	向上 2一定の成果向上余
			指標名称1			45. 0	1 17 1	45. 0		(R?)								動向	余地 地あり
f日1	票種	規		単位	計画	45. 0 33. 3	45. 0	45. 0 37. 7	45.0		- I	事業費計	6, 745 2, 247	11, 735	10, 231	10, 231 3, 410	評	スクールソーシャルワーカーだ	が継続的に関わる件数が増え、
成果	+	フロー	支援により問題が解決、 あるいは好転した割合	%	実績 達成率	74. 00%	33. 1 73. 56%	83. 78%	\rightarrow		10000000000000000000000000000000000000	国費 その他	2, 241	3, 911	3, 410	১, 410			る一定数を保っている。研修会等
tie t	= 括:	類2	指標名称2	単位	達 成學	1, 170	1, 170	1, 170	1, 170		开	その他 県費	4, 498	7. 824	6, 821	6. 821			トするなど、課題解決に向けて引
781	示『王	大只と		丰山	実績	641	824	901			=	<u> </u>	6, 518	8, 200	8, 428	0,021		き続き努める。	
活動	+	70-	スクールソーシャルワーカーの 支援対象となった児童生徒数	人	達成率	54. 79%	70. 43%	77, 01%	$\overline{}$		3th =		2, 172	2, 733	2, 809	\		方向1 このまま継続	
tie t	票種	米百つ	指標名称3	単位	達 成學	390	70. 43% 390	390	390			国費 その他	۷, ۱۱۷	۷, ۱۵۵	۷, ٥٥٩			方向 1 このまま継続 方向 2	
7日1	示性:	担う		甲亚		459	617		390		7		4. 346	5. 467	5 610		兄店		
活動	+	70-	スクールソーシャルワーカーが 継続的に支援した児童生徒数	人	実績			851	$\overline{}$		1 31	<u>県費</u>			5, 619	\	L.	方向3	
	±1	스 #미	終期		達成率	117.69%	158.21% ¢の概要	Z18. Z1%			人役	<u>《</u> ‡費	0. 5 3. 403	0. 5 3. 383	0. 5 3. 025	\	方		
実施	好	台期	社会福祉等の知識	. 世 / 長 太	ちせるフィ	• • • •		注用し いじか	不登拉 星	カ行为笙の	人11	上 質	3, 403	ა, ა გა	3, 025		向		
期間	Н	120	課題解決への対応		付りるへ:	ノールノーシャ	ルリーカーを	治用し、いしぬ	、小豆伙、茶	刀11 荷守の							性		
	l "	120		പ്രവസം															
												٦ ٦ ١							白 ト 1世田白 ト 全地が小
6	ス:	クー	ルライフアドパイザー活用	事業費	指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		コスト [位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		成果 3成果横ばい	向上 1成果向上余地が小
						R元年度	1 17 1			最終目標	(単	位:千円)						成果 3成果横ばい	向上 1成果向上余地が小 余地 さい
指相	票種	類1	指標名称1	事業費 単位	計画	R元年度	60	60	R4年度 60	最終目標	(単	位:千円) 事業費計	R元年度 7,427	R2年度 7, 513	R3年度 7, 513	R4年度 7, 513	評		
	票種	類1	指標名称1 アドバイザー配置校にお		計画実績	R元年度	60 46	60 57		最終目標	(単	4位:千円) 事業費計 国費					評価		
指成果	栗種	71-	指標名称1 アドバイザー配置校にお けるいじめ認知件数	単位件	計画 実績 達成率	_	60 46 76. 67%	60 57 95. 00 %	60	_	(単	i位: 千円) 事業費計 国費 その他	7, 427	7, 513	7, 513	7, 513			
指标 成果	票種 十	70-	指標名称1 アドバイザー配置校にお けるいじめ認知件数 指標名称2	単位 件 単位	計画 実績 達成率 計画	- 140	60 46 76. 67% 140	60 57 95. 00% 140		_	予算	位: 千円) 事業費計 国費 その他 県費	7, 427		7, 513 7, 513	7, 513			
指成果	票種 十	70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2	単位件	計画 実績 達成率 計画 実績	- 140 135	60 46 76. 67% 140 135	60 57 95. 00% 140 103	60	_	予算	i位: 千円) 事業費計 国費 その他 県費 事業費計	7, 427	7, 513	7, 513	7, 513		動向の水米便はい	
指 成果 指 活動	票種 十 票種 十	類1 70- 類2 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1 校平均の相談回数	単位 件 単位 回	計画 実績 達成画 実績 達成率	- 140 135 96. 43%	60 46 76. 67% 140 135 96. 43%	60 57 95. 00% 140 103 73. 57%	140	140	予算	i位: 千円) 事業費計 国費 その他 県費 事業費計	7, 427	7, 513	7, 513 7, 513	7, 513	価	動向 3成未領はい 方向 1 このまま継続	
指标 成果 指标 活動 指标	票種 + 種 + 種 + 種	類1 70- 類2 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3	単位 件 単位 回 単位	計画 実成率計画 実績 達成率計画	- 140 135 96. 43% 80	60 46 76. 67% 140 135 96. 43% 80	60 57 95. 00% 140 103 73. 57% 80	60	140	予算	位: 千円) 事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国の他	7, 427 7, 427 7, 006	7, 513 7, 513 7, 085	7, 513 7, 513 7, 269	7, 513		動向 ^{3放未検} はい 方向1 このまま継続 方向2	
指 成果 指 活動	票種 + 種 + 種 + 種	類1 70- 類2 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1 校平均の相談回数	単位 件 単位 回	計画 実達成画 業成画 養成 計 実 計 実 責 計 実 議 成 画 積 素 成 事 員 表 員 表 員 表 員 表 員 。 と 員 表 員 、 と の と の と の と の と の と の と の と の と の と	- 140 135 96. 43% 80 80	60 46 76. 67% 140 135 96. 43% 80	60 57 95. 00% 140 103 73. 57% 80 83	140	140	予算決算	位: 千円) 事業費計 国費 その他費 事業費計 母の他費 事業費計	7, 427 7, 427 7, 006	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269	7, 513	価 見·	動向 3成未領はい 方向 1 このまま継続	
指标 成果 指标 活動 指标	票種 + 種 + 種 +	類1 70- 類2 70- 類3	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間 (一人当たり)	単位 件 単位 回 単位	計画 実成率計画 実績 達成率計画	- 140 135 96. 43% 80 80 100. 00%	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 80	60 57 95. 00% 140 103 73. 57% 80	140	140	予算決算人	位: 千円) 事業費計 国費 その他費 事業費国 その他 費	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0. 1	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1	7, 513	価 見·	動向 ^{3放未検} はい 方向1 このまま継続 方向2	
指 成 指 活 指 活 動 活 動 無	票種 + 種 + 種 +	類1 70- 類2 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間 (一人当たり)	単位 件 単位 回 単位 時間	計画 実達成画	- 140 135 96. 43% 80 80 100. 00% 事業	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 80 100.00% まの概要	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75%	140	140	予算決算	位: 千円) 事業費計 国費 その他費 事業費国 その他 費	7, 427 7, 427 7, 006	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269	7, 513	価 見直し方向	動向 ^{3放未検} はい 方向1 このまま継続 方向2	
指 成果 指 活動 指 活動	票種 + 種 + 種 + 姓	類1 70- 類2 70- 類3	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 予定・見込 第三者的な相談員を生物のより。	単位 件 単位 回 単位 時間	計画 実達成画	- 140 135 96,43% 80 80 100.00% 事業	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 100.00% ¢の概要 生が抱えている	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75%	60 140 80 ※	140 80 80 とのできる体制	予算決算人	位: 千円) 事業費計 国費 その他費 事業費国 その他 費	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0. 1	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1	7, 513	価見直し方	動向 ^{3放未検} はい 方向1 このまま継続 方向2	
指 成 指 活 指 活 動 活 動 無	票種 + 種 + 種 + 姓	類1 70- 類2 70- 類3 70- 台期	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期	単位 件 単位 回 単位 時間	計画 実達成画	- 140 135 96,43% 80 80 100.00% 事業	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 100.00% ¢の概要 生が抱えている	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75%	60 140 80 ※	140 80 80 とのできる体制	予算決算人	位: 千円) 事業費計 国費 その他費 事業費国 その他 費	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0. 1	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1	7, 513	価 見直し方向	動向 ^{3放未検} はい 方向1 このまま継続 方向2	
指 成 指 活 指 活 動 活 動 無	票 + 種 + 難 + 始 H	類1 70- 類2 70- 類3 70- 台期	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3 - 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 テ定・見込があれば記 入 する。	単位 件 単位 回 単位 時間	計画実績では、中国では、中国では、中国では、中国では、中国では、中国では、中国では、中国	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校 のある充実した	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 80 100.00% まの概要 生が抱えている 学校生活を送る	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等る	60 140 80 80 気軽に話すこ 境を教員と連接	140 80 80 とのできる体制 8.しながら整備	予算決算人人	位:千円) 事業費計 国費 その他 県費計 国費 その他 県費計 国費 をの他 より 事業費計 をの他 より ものも ものも ものも ものも ものも ものも ものも ものも ものも もの	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0.1 681	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0, 1 605	7, 513	価 見直し方向	動向	
指	票 + 種 + 姓 + 姓 + 姓 +	類1 70- 類2 70- 類3 70- 台期	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 予定・見込 があれば起 人 を構築し、生徒のストしする。	単位件単位回単位時間生徒の身和	計画実績達成率計画機関を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校のある充実した	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 100.00% まの概要 生が抱えている 学校生活を送る	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等を 5ことができる環	60 140 80 気軽に話すこ 境を教員と連携 R4年度	140 80 80 とのできる体制	(単三字字)	位:千円) 事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0. 1	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1	7, 513	価 見直し方向	あ向	余地 さい
指	票 + 種 + 難 + 始 H	類1 70- 類2 70- 類3 70- 台期	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3 - 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 テ定・見込があれば記 入 する。	単位 件 単位 回 単位 時間	計画実績では、中国では、中国では、中国では、中国では、中国では、中国では、中国では、中国	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校 のある充実した	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 100.00% まの概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等る	60 140 80 80 気軽に話すこ 境を教員と連接	140 80 80 とのできる体制 8.しながら整備	(単三字字)	位:千円) 事業費計 国費 その他 県費計 国費 その他 県費計 国費 をの他 より 事業費計 をの他 より ものも ものも ものも ものも ものも ものも ものも ものも ものも もの	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0.1 681	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0, 1 605	7, 513	価見直し方向性	あ向 このまま継続 方向 2 方向 3	余地 さい
指 成 指 活 指 大 上 <	票種 + 種 + 始 H 学種	類 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間(一人当たり) 終期 テ定・見込があれば記 入 第三者的な相談員をもがあれば記 大 第三者のな相談員をもがあれば記 大 第三者のな相談員をも構築し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、	単位件単位回単位時間生徒の身和	計画実績達成率計画機関を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校のある充実した	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 100.00% まの概要 生が抱えている 学校生活を送る	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等を 5ことができる環	60 140 80 気軽に話すこ 境を教員と連携 R4年度	140 80 80 とのできる体制 場しながら整備	(単三字字)	位:千円) 事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0. 1 681	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1 605	7, 513 7, 513 R4年度	価 見直し方向性 評	あ向 このまま継続 方向 2 方向 3	余地 さい
指	票種 + 種 + 始 H 学種	類 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間(一人当たり) 終期 デを・見込があれば記入 第三者的な相談員を生物あれば記入 「大学・見込む情報楽し、生徒のストレする。	単位件単位回単位時間生徒の身和	計画 実積 達成率 計画 実積 達成率 計画 実積 達成率 計画 (ごに配置する) は「に配置する」 に配置する。 は「、ゆとり は「無動向 計画	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校 のある充実した	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 100.00% まの概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等を ことができる環 R3年度	60 140 80 気軽に話すこ 境を教員と連携 R4年度	140 80 80 とのできる体制 場しながら整備	(単三字字)	位:千円) 事業費計 国費 その他 県費 事業費国費 その他 県費 事業費 事業費 事業費 もの他 県費 中間 中間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0. 1 681	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1 605	7, 513 7, 513 R4年度	価見直し方向性	あ向 このまま継続 方向 2 方向 3	余地 さい
指 成 指 動 指 動 指 動 指 動 指 動	票 + 種 + 姓 H 学種 +	類 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間(一人当たり) 終期 テ定・見込があれば記 入 第三者的な相談員をもがあれば記 大 第三者のな相談員をもがあれば記 大 第三者のな相談員をも構築し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、生徒のストロークを表し、	単位件単位回単位時間生徒の身和	計画 実績 達成 計 調 議成 事 計 議成 事 計 機成 事 後 成 画 後 成 画 後 成 の ら の ら い ら い り い り い り い り い り り り り り り り り	- 140 135 96.43% 80 100.00% 事業 おることで、高校 のある充実した R元年度 100 100	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 100.00% まの概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度	60 577 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等を ことができる環 R3年度 100 100	60 140 80 気軽に話すこ 境を教員と連携 R4年度	140 80 80 とのできる体制 もしながら整備 100	(単三字字)	位:千円) 事業費計 国の他費 事業費計 国の他費 事業費計 国の他費 よ での、 中費 での、 中費 を での、 中費 での、 中費 での、 中費 での、 中費 では、 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0. 1 681	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1 605	7, 513 7, 513 7, 513 R4年度 2, 207	価 見直し方向性 評	あ向 このまま継続 方向 2 方向 3	余地 さい
指	票 + 種 + 姓 + 華 + 種	類1 70- 類2 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3 - 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 テ定・見込があればに 入 ・ する。	単位 件単位 回単位 時間 生徒の身和 単位 %	計画 実成 連続 計画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議	- 140 135 96.438 80 100.00% 事業 することで、高校 のある充実した R元年度 100 100.00%	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 100.00% をの概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度 100 100.00%	60 577 95,00% 140 103 73,57% 80 83 103,75% 悩みや不安等る ことができる環 R3年度 100 100,00% 100,00%	80 140 80 ※気軽に話すこ 境を教員と連携 R4年度 100	140 80 80 とのできる体制 もしながら整備 100	(単) (単) (大) (大) (大) (大	位:千円) 事業費計 国費 子の他 県費 事業費計 国の他費 その他費 と 大 大 大 大 大 大 大 の 世 男 大 の 他費 そ の 他費 と の し り り り り り り り り り り り り り り り り り り	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0.1 681 R元年度 2, 191	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677 R2年度 2, 207	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1 605 R3年度 2, 207	7, 513 7, 513 7, 513 R4年度 2, 207	価 見直し方向性 評	あ向 このまま継続 方向 2 方向 3	余地 さい
指	票 + 種 + 姓 + 華 + 種	類1 70- 類2 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3 - 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 テ定・見込があればに 入 ・ する。	単位件単位回単位時間ままでの身内を利用しています。	実績 実績 実績 東 東 東 東 東 東 東 東 東	- 140 135 96.438 80 100.00% 事業 することで、高校・ のある充実した R元年度 100 100.00% 100.00%	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 100.00% をの概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度 100 100.00%	60 577 95,00% 140 103 73,57% 80 83 103,75% 悩みや不安等る ことができる環 R3年度 100 100,00% 100,00%	80 140 80 ※気軽に話すこ 境を教員と連携 R4年度 100	140 80 80 とのできる体制 もしながら整備 100	(単) (単) (大) (大) (大) (大	地位:千円) 事業費計 国の他費 果費計 事業費計 名の他費 その他費 と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7, 427 7, 427 7, 006 7, 006 0.1 681 R元年度 2, 191	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677 R2年度 2, 207	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1 605 R3年度 2, 207	7, 513 7, 513 7, 513 R4年度 2, 207	価 見直し方向性 評	あ向 このまま継続 方向 2 方向 3	余地 さい
指規括指數指數機構與指數機構與指數機構與	票 + 種 + 蜂 H 学種 + 種 +	類1 70- 類2 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3 - 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 テ定・見込があればに 入 ・ する。	単位 件単位 回単位 時間 単位 % 単位 %	計画 実成 連続 計画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校でのある充実した R元年度 100 100.00% 100.00%	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 80 100.00% €の概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度 100 100.00% 100.00%	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等る環 にとができる環 100 100.00% 100.00%	80 140 80 ※気軽に話すこ 境を教員と連携 R4年度 100	140 80 80 とのできる体制 もしながら整備 100	(単) (単) (大) (大) (大) (大	地位: 千円) 事業	7, 427 7, 427 7, 006 0.1 681 R元年度 2, 191 2, 191 1, 508	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677 R2年度 2, 207	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1 605 R3年度 2, 207	7, 513 7, 513 7, 513 R4年度 2, 207	価 見直し方向性 評	あ向 3成果傾はい 方向 1 このまま継続 方向 2 方向 3 成果 動向 4成果順調である	余地 さい
指規括指數指數機構與指數機構與指數機構與	票 + 種 + 蜂 H 学種 + 種 +	類1 70- 類2 70- 類3 70- 類3 70- 対期 1112 校間 70- 類2 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 予定・見込 があれば起 大 を構築し、生徒のストしする。 超解決支援事業費 指標名称1 学校トラブルサボートデームを派遣した問題行動等の解決車 指標名称2 心のレスキュー際による相談活動を通して 改善が見られた延べ人数の割合	単位 件単位 回単位 時間 単位 % 単位 %	計画 実成 連続 計画 東遠成画 計画 接成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 同 議成 同 表 成 同 表 成 に に の は に に の は に に の は に の は と と と と と と と と と と と と と と と と と と	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校でのある充実した R元年度 100 100.00% 100.00%	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 80 100.00% €の概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度 100 100.00% 100.00%	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等る環 にとができる環 100 100.00% 100.00%	80 140 80 ※気軽に話すこ 境を教員と連携 R4年度 100	140 80 80 とのできる体制 もしながら整備 100	(単) (単) (大) (大) (大) (大	位:千円) 事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業 もの他費 と 計費 コの他費 と 計費 コの他費 をの見費 をのし費 をの見費 をの見費 をの見費 をの見費 をの見費 をの見費 をの見費 をの見	7, 427 7, 427 7, 006 0.1 681 R元年度 2, 191 2, 191 1, 508	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677 R2年度 2, 207	7, 513 7, 513 7, 269 7, 269 0. 1 605 R3年度 2, 207	7, 513 7, 513 7, 513 R4年度 2, 207	価 見直し方向性 評	あ向	余地 さい
指規括指數指數機構與指數機構與指數機構與	票 + 種 + 蜂 H 学種 + 種 +	類1 70- 類2 70- 類3 70- 類3 70- 対期 1112 校間 70- 類2 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 予定・見込 があれば起 大 を構築し、生徒のストしする。 超解決支援事業費 指標名称1 学校トラブルサボートデームを派遣した問題行動等の解決車 指標名称2 心のレスキュー際による相談活動を通して 改善が見られた延べ人数の割合	単位 件単位 回単位 時間 単位 % 単位 %	計画 実達成画 (計画 (本) 計画 (本) 計画 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校でのある充実した R元年度 100 100.00% 100.00%	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 80 100.00% €の概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度 100 100.00% 100.00%	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等る環 にとができる環 100 100.00% 100.00%	80 140 80 ※気軽に話すこ 境を教員と連携 R4年度 100	140 80 80 とのできる体制 もしながら整備 100	(単) (単) (大) (大) (大) (大	地位: 千円) 事業 事業費計 国の他費 事業費計 国の他費 事業費計 国の他費 「中間」 「中間」 「中間」 「中間」 「中間」 「中間」 「中間」 「中間」	7, 427 7, 427 7, 006 0.1 681 R元年度 2, 191 1, 508	7, 513 7, 513 7, 085 0, 1 677 R2年度 2, 207 2, 207	7, 513 7, 513 7, 269 0. 1 605 R3年度 2, 207 2, 207	7, 513 7, 513 7, 513 R4年度 2, 207	価 見直し方向性 評価 見直し	あ向	余地 さい
指 指 指 指	票 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 +	類1 70- 類2 70- 類3 70- 類3 70- 対期 1112 校間 70- 類2 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 予定・見込 があれば起 大 を構築し、生徒のストしする。 超解決支援事業費 指標名称1 学校トラブルサボートデームを派遣した問題行動等の解決車 指標名称2 心のレスキュー際による相談活動を通して 改善が見られた延べ人数の割合	単位 件単位 回単位 時間 単位 % 単位 %	実達 計画 実達 計画 実達 計画 実達 計画 実達 計画 まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	- 140 135 96.43% 80 100.00% 事業 することで、高校・ のある充実した R元年度 100 100.00% 100.00%	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 80 100.00% €の概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度 100 100.00% 100.00%	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等る環 にとができる環 100 100.00% 100.00%	80 140 80 ※気軽に話すこ 境を教員と連携 R4年度 100	140 80 80 とのできる体制 もしながら整備 100	学算 決算 人人 予算 決算	地位 * 千円) 事業 書	7, 427 7, 427 7, 006 0.1 681 R元年度 2, 191 1, 508	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0.1 677 R2年度 2, 207 415	7, 513 7, 513 7, 269 0, 1 605 R3年度 2, 207 980	7, 513 7, 513 7, 513 R4年度 2, 207	価 見直し方向性 評価 見直し方	あ向	余地 さい
指 指 指 指	票 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 +	類1 70- 類3 70- 台期 112 校 類1 70- 台期 70- 台期 70- 台期 70- 台期 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 予定・見込 があれば起 人 を構築し、生徒のストし する。 「大を表現した問題を表現である。 を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	単位 件単位 回単位 時間 生徒の身和 単位 % 単位	計画 実成 連続 計 実 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 同 議成 同	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校ののある充実した R元年度 100 100.00% 100.00%	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 80 100.00% まの概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度 100 100.00% 100.00%	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等を 5ことができる環 100 100.00% 100.00%	80 80 80 第を教員と連携 100 100	80 80 80 80できる体制 最終目標 100 100	予算 決算 人人 「予算 決算 人	地位 * 千円) 事業 書	7, 427 7, 427 7, 006 0. 1 681 R元年度 2, 191 1, 508 1, 508	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677 R2年度 2, 207 415 415 0. 1	7, 513 7, 513 7, 269 0. 1 605 R3年度 2, 207 980 980 0. 1	7, 513 7, 513 7, 513 R4年度 2, 207	価 見直し方向性 評価 見直し方向	あ向	余地 さい
指規括指數指數機構與指數機構與指數機構與	票 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 +	類1 70- 類2 70- 類3 70- 台期 1112 校間 70- 類2 70- 類3	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 - 1 校平均の相談回数 指標名称3 - 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 第三者的な相談員をを構築し、生徒のストレ する。	単位 件単位 回単位 時間 きたく 単位 % 位 単位 % 位 プール期 領 は かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	計画 実成 連続 計 実 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 同 議成 同	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校ののある充実した R元年度 100 100.00% 100.00%	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 80 100.00% まの概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度 100 100.00% 100.00%	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等を 5ことができる環 100 100.00% 100.00%	80 80 80 第を教員と連携 100 100	80 80 80 80できる体制 最終目標 100 100	予算 決算 人人 「予算 決算 人	地位 * 千円) 事業 書	7, 427 7, 427 7, 006 0. 1 681 R元年度 2, 191 1, 508 1, 508	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677 R2年度 2, 207 415 415 0. 1	7, 513 7, 513 7, 269 0. 1 605 R3年度 2, 207 980 980 0. 1	7, 513 7, 513 7, 513 R4年度 2, 207	価 見直し方向性 評価 見直し方	あ向	余地 さい
指 成 指 括 五 指 五 指 五 上 に に に に に に に に に に に に に	票 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 + 種 +	類1 70- 類3 70- 台期 112 校 類1 70- 台期 70- 台期 70- 台期 70- 台期 70-	指標名称1 アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数 指標名称2 1 校平均の相談回数 指標名称3 相談活動以外の活動時間 (一人当たり) 終期 予定・見込 があれば起 人 を構築し、生徒のストし する。 「大を表現した問題を表現である。 を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を構築し、生徒のストし を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	単位 件単位 回単位 時間 きたく 単位 % 位 単位 % 位 プール期 領 は かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	計画 実成 連続 計 実 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 画 議成 同 議成 同	- 140 135 96.43% 80 80 100.00% 事業 することで、高校ののある充実した R元年度 100 100.00% 100.00%	60 46 76.67% 140 135 96.43% 80 80 100.00% まの概要 生が抱えている 学校生活を送る R2年度 100 100.00% 100.00%	60 57 95.00% 140 103 73.57% 80 83 103.75% 悩みや不安等を 5ことができる環 100 100.00% 100.00%	80 80 80 第を教員と連携 100 100	80 80 80 80できる体制 最終目標 100 100	予算 決算 人人 「予算 決算 人	地位 * 千円) 事業 書	7, 427 7, 427 7, 006 0. 1 681 R元年度 2, 191 1, 508 1, 508	7, 513 7, 513 7, 085 7, 085 0. 1 677 R2年度 2, 207 415 415 0. 1	7, 513 7, 513 7, 269 0. 1 605 R3年度 2, 207 980 980 0. 1	7, 513 7, 513 7, 513 R4年度 2, 207	価 見直し方向性 評価 見直し方向	あ向	余地 さい



12	総台	教育	育センター教育相談療育事	業費	指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	(単	コスト 単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		成果 動向 4成果順調である 向上 2一定の成果で 余地 地あり	句上余	
指標			指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	100		事業費計	488	488	483	478	===	指標名称1については、学校復帰に向けて、関係学校や保護		
成果		70-	不登校療育教室の学校復	%	実績	100	100	100			予	国費					計	携して取り組むことができた。指標名称2については、相談者 に立って受容と傾聴の姿勢で対応しており、相談体制の充実	の立場	
以 未	_	71	帰への貢献度	70	達成率	100. 00%	100.00%	100. 00%			算	その他					ΊЩ	加 に立って受容と傾聴の安勢で対応してあり、相談体制の元美にれている。指標名称3については、感染症の広がりのため、活		
指標	票種類	類2	指標名称2	単位	計画	1, 000	800	800	800	800		県費	488	488	483	478		きず参加者が少なくなったが、できる範囲で活動内容の充実		
活動	+	70-	教育相談、進路指導の相	14	実績	705	540	729				事業費計	482	329	313			<i>t</i> =.		
/白 到	_)u-	談延べ件数	IT	達成率	70. 50%	67. 50%	91. 13%			決	国費						方向 1 このまま継続		
指標	票種類	頃3	指標名称3	単位	計画	400	500	500	500	500	算	その他					見	見 方向2		
活動		70	自閉症療育事業の参加延		実績	570	494	359		/		県費	482	329	313		直	<u></u> 方向3		
/白 刬	")u-	べ人数	^	達成率	142. 50%	98. 80%	71. 80%			人名		6. 7	6. 7	6. 7	\	Ļ	Ļ		
	始	期	終期			事業	の概要				人化	牛費	45, 601	45, 333	40, 535	\setminus	万	万 計画した事業に対する多くのニーズがあることを受け止		
実施 期間	S	57	教育上や発達上の諸 閉症療育教室を実施し														性	同 児・児童・生徒の実態に応じた事業内容の充実を図りた 性 効な予算の活用を図りたい。	ながら有	
13	協價	で支	えるヤングボランティア推進	李樂費	指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R7)	(当	コスト 単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		成果 動向 3成果横ばい 向上 2一定の成果で 余地 地あり	句上余	
指標	票種類		指標名称1	単位	計画	520	520	300	210	-		事業費計	519	519	519	519	===	マーラー・ナー・コー・フー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー	- 1.71 -2 7	
成果		70-	高校生が企画するボラン		実績	571	191	176			予	国費					計	評 高校生を中心とする自発的なボランティア活動の継続Ⅰ 両 知度が上がり、高校生のスタッフ登録者数は上昇し、活	こより認	
以 未	_)u-	ティア活動への参加人数	^	達成率	109. 81%	36. 73%	58. 67%			算	その他					ΊЩ			
指標	票種類	頃2	指標名称2	単位	計画	50	50	35	35	_		県費	519	519	519	519		果指標は停滞している。	E CIX	
活動	+	70-	高校生が企画するボラン	□	実績	35	23	29				事業費計	387	312	254			2127 M. C.		
/口 到		74-	ティア活動の開催回数	교	達成率	70. 00%	46. 00%	82. 86%			決	国費						方向 1 このまま継続		
指標	票種	頃3	指標名称3	単位	計画	500	800	800	1, 350	800	算	その他					見	見 方向2		
汗動	<u> </u>	70-	ボランティアスタッフと		実績	1, 126	792	1, 334				県費	387	312	254	\	直	直 方向3		
/白 刬	")u-	して登録した高校生等	^	達成率	225. 20%	99. 00%	166. 75%			人名		0.8	0.8	0.8	\	Ļ	Ļ		
	始	期					の概要				人化	牛費	5, 445	5, 413	4, 840	\	方	方 実施ボランティア数に対する、高校生が企画し、運営す	⁻ るボラ	
実施 期間	Н	22	_{予定・見込} 官民協働で、自主的	・自発的 - クを構	的にボラン [築] 、生活	ティア活動に耳 手にわたってボ	取り組む高校生 ランティア活動	上等を支援する かに取り組むき	るとともに、県 き者を育成する	内の高校や							性	世 ンティアの割合を増加させていく。	0.1.7	

4-2 事務事業管理シート(評価対象外事業) 予算施策名 ky04 児童生徒の健全育成と教育相談の充実

												_
1 不登校児童生徒支援拡充事業費	(コスト 単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	(i)	コスト 単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	
評価対象外の理由		事業費計	0	0	39834	0		事業費計	0	0	28, 139	
単年度事業		国費			39, 834		決	国費			28, 139	
半十及争未	予	その他					算	その他				
評価対象外その他の理由(記述)	算	県費						県費				
								人役			0.3	
								人件費			1, 815	

4-3 事務事業管理シート(新規事業)

予算施策名 ky04 児童生徒の健全育成と教育相談の充実

1 魅力ある学校づくり調査研究事業費	()	コスト 単位:千円)	4年度
		事業費計	1, 265
	予	国費	1, 265
	算	その他	
		県費	